

平成24年5月

平成24年	1月 ~	3月期	実績
平成24年	4月 ~	6月期	見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23

## [集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

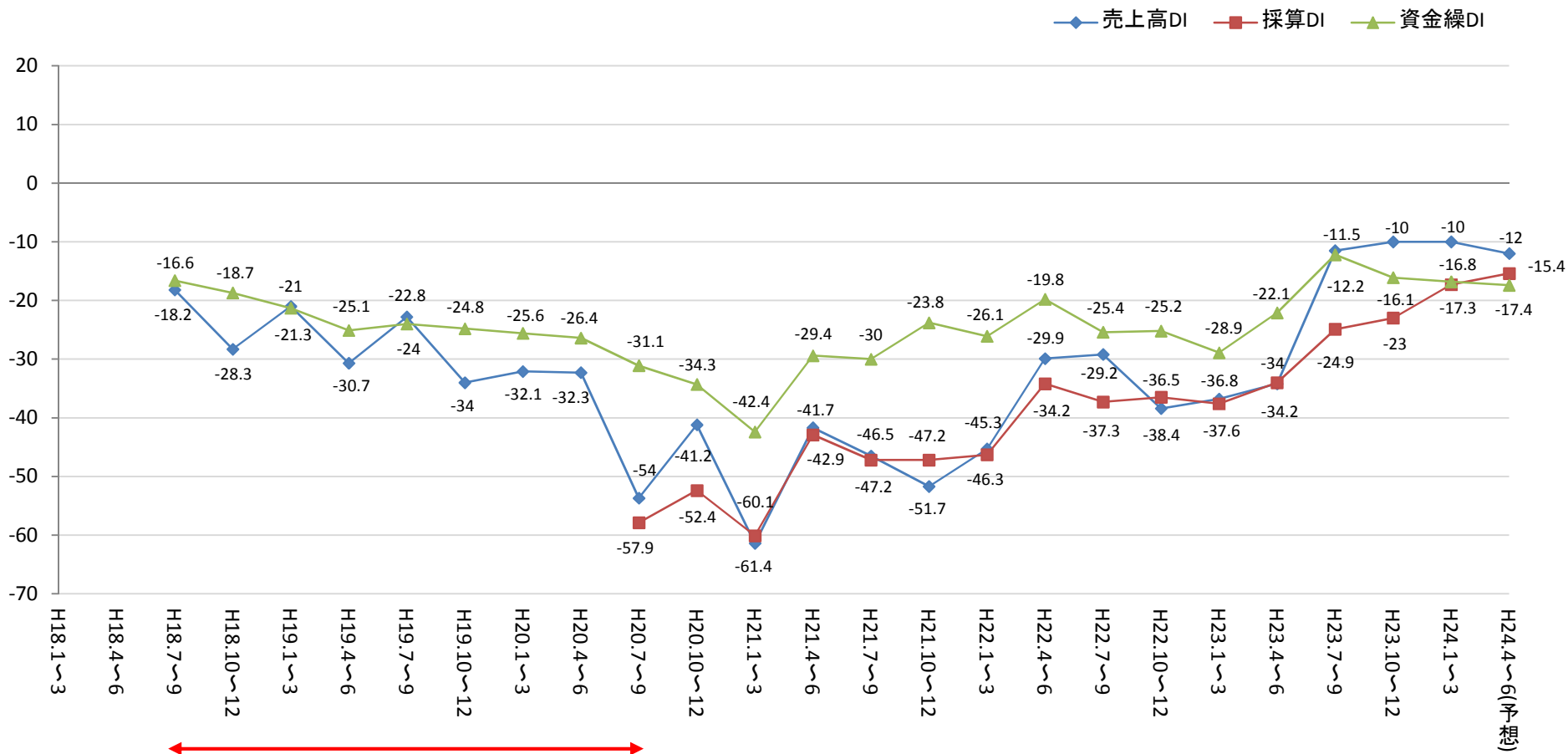
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[ 岩手県 産業全体 ]






### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成22年			平成23年			平成24年			(見通し) 平成24年 4~6月
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	
建 設 業	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 晴	 晴	 晴	
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	
サ ー ビ ス 業	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 曇	 曇	

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

# 全産業の推移

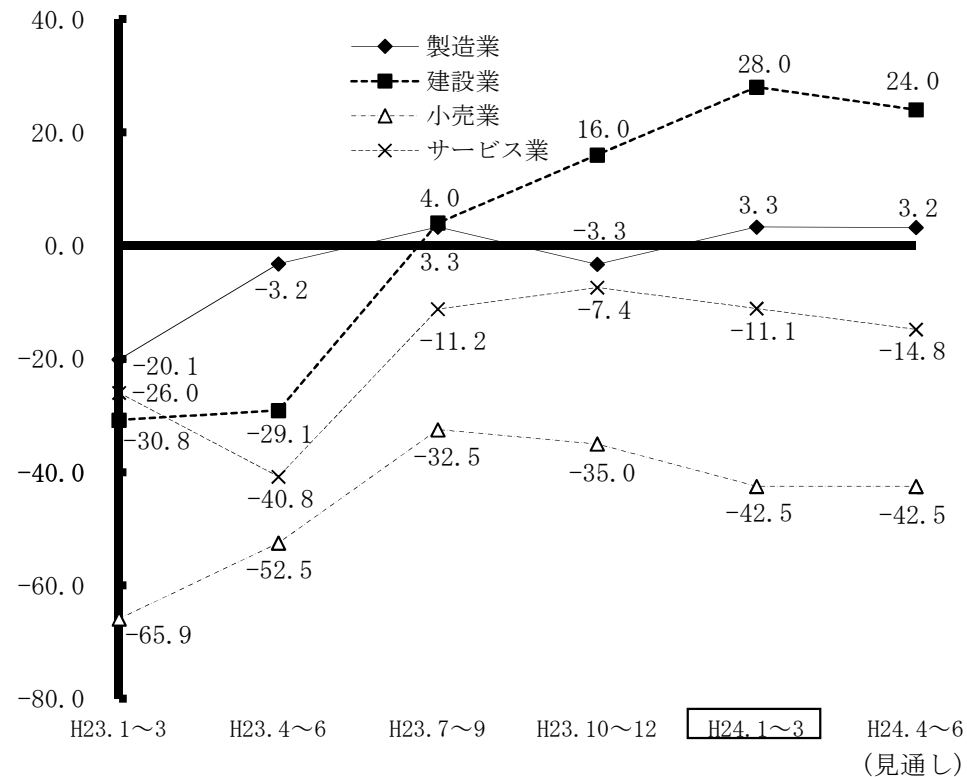
## 売上高

今期は、建設業が4期連続して上昇し、プラス幅は28.0となり、平成15年1月～3月期の調査時以降で最も高い水準を維持しています。

また、製造業が6.6ポイント上昇してプラスに転じています。

しかし、サービス業及び小売業は、マイナス幅が拡大しており、小売業は7.5ポイント低下の△42.5となっています。

来期は、すべての業種において、低下若しくは横ばいと予想されています。サービス業がマイナス幅を3.7ポイント拡大させると見込まれておりますが、建設業及び製造業はプラス領域にとどまる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

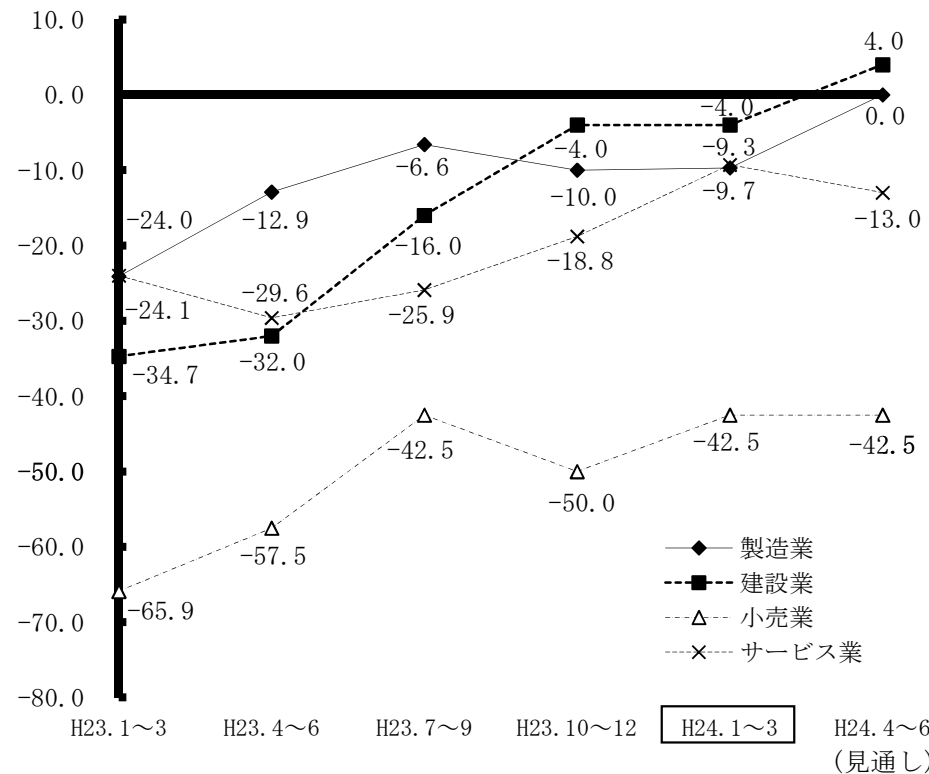
# 全産業の推移

## 採算

今期は、建設業が横ばい、製造業、小売業、サービス業の3業種では上昇しました。しかし、全業種が依然としてマイナス領域にあり、小売業ではマイナス幅が7.5ポイント縮小したものの△42.5の低い水準となっています。

来期は、建設業及び製造業において上昇が見込まれ、特に建設業ではプラスに転じる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



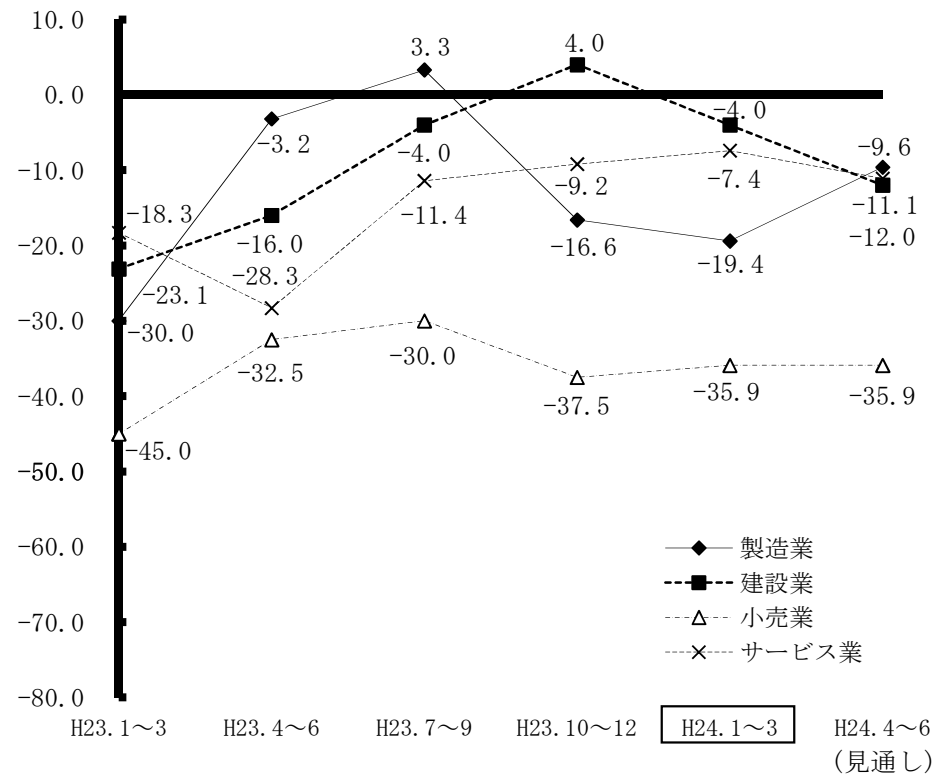
# 全産業の推移

## 資金繰り

今期は、急ピッチで上昇を続けていた建設業が低下し、マイナスに転じた結果、全業種がマイナスとなりました。

製造業においては、マイナス幅が2.8ポイント拡大して△19.4となっています。

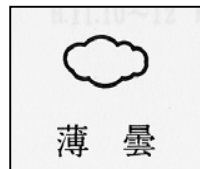
来期は、製造業が9.8ポイントの上昇となるものの、他の3業種では横ばい又は低下し、資金繰りD・Iは全業種がマイナス領域にとどまる見通しとなっています。



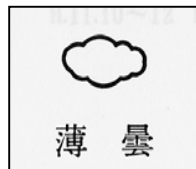
# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

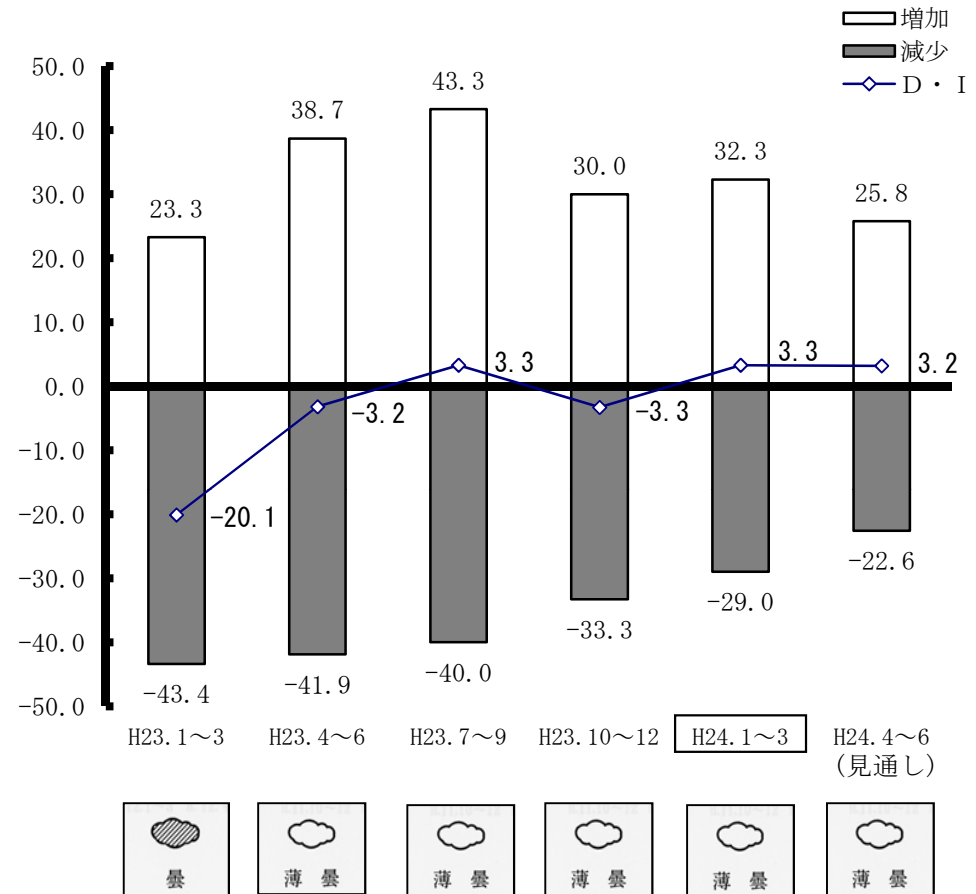


<来期見通し>



今期は、増加企業割合の上昇と減少企業割合の低下により、売上高D・Iは6.6ポイント上昇の3.3となり、プラスに転じました。

来期は、売上高の増加を予想する企業は減少するものの、売上高の減少を予想する企業も同様に減少することから、売上高D・Iは、ほぼ横ばいの3.2と予想されています。

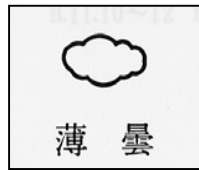




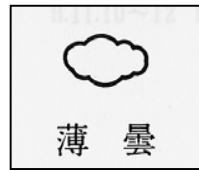
# 製造業の推移

## 採算

<今 期>

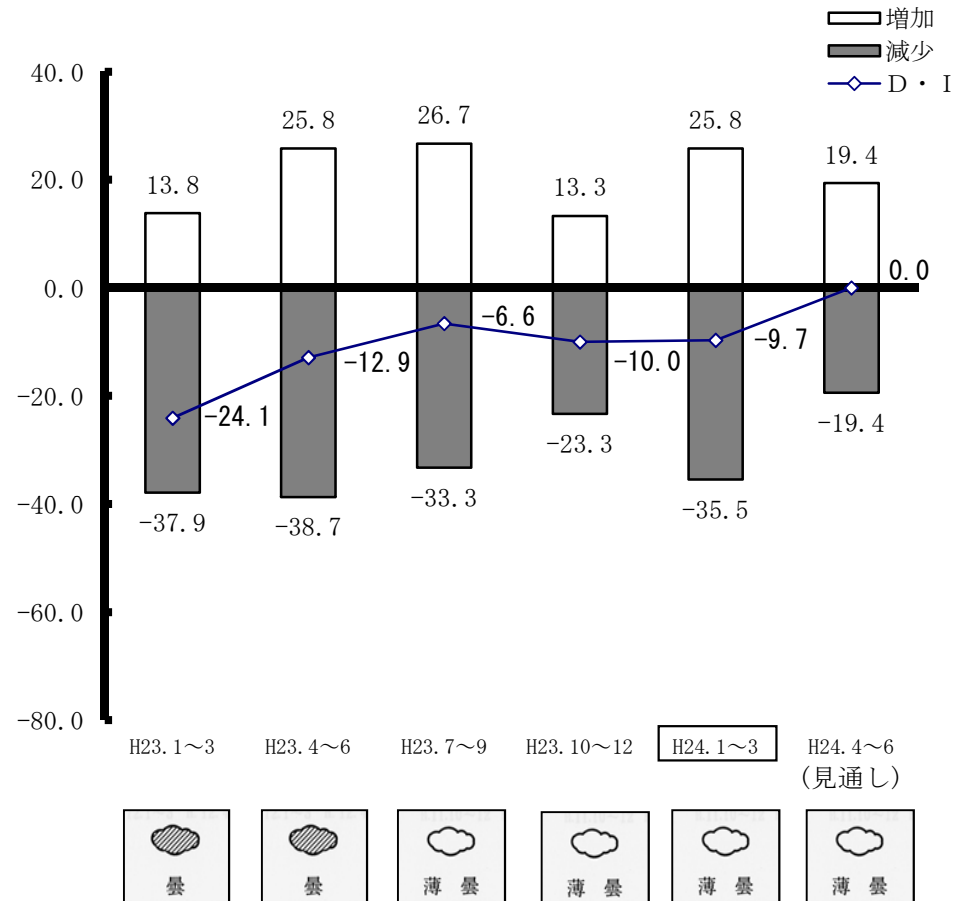


<来期見通し>



今期は、好転企業が12.5ポイントの大幅な増加となりましたが、悪化企業も同様に増加した結果、採算D・Iはほぼ横ばいの△9.7となりました。

来期は、採算の悪化を予想する企業が大幅に減少していることから、採算D・Iは0.0の水準まで回復する見通しです。

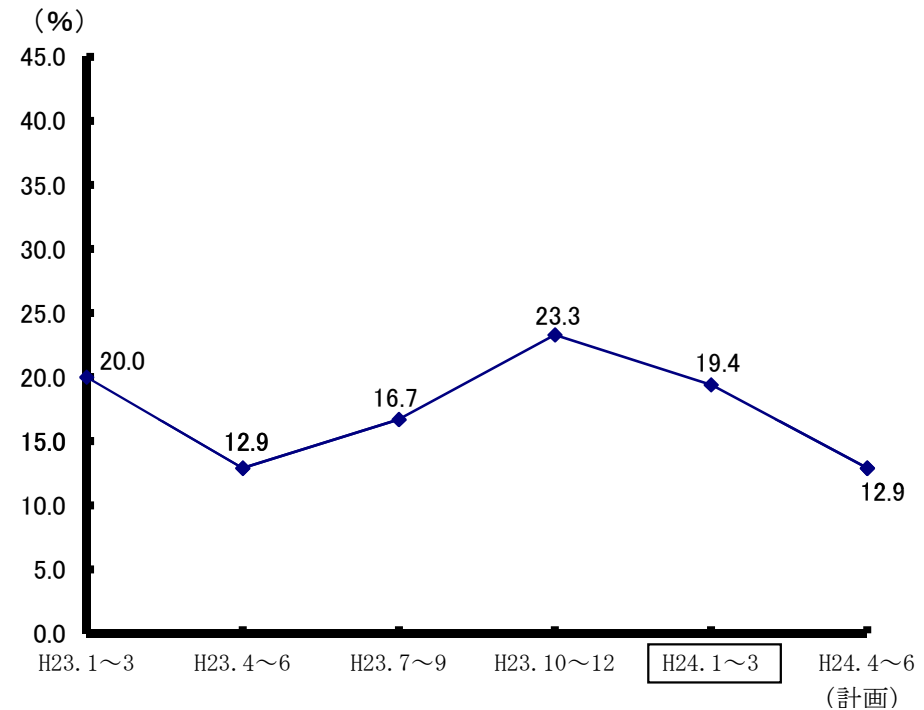


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を行う企業は減少し、6.7%と予想されておりましたが、実際は予想を上回る19.4%の企業において設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は引き続き減少し、12.9%となる見込みです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



## 経営上の問題点

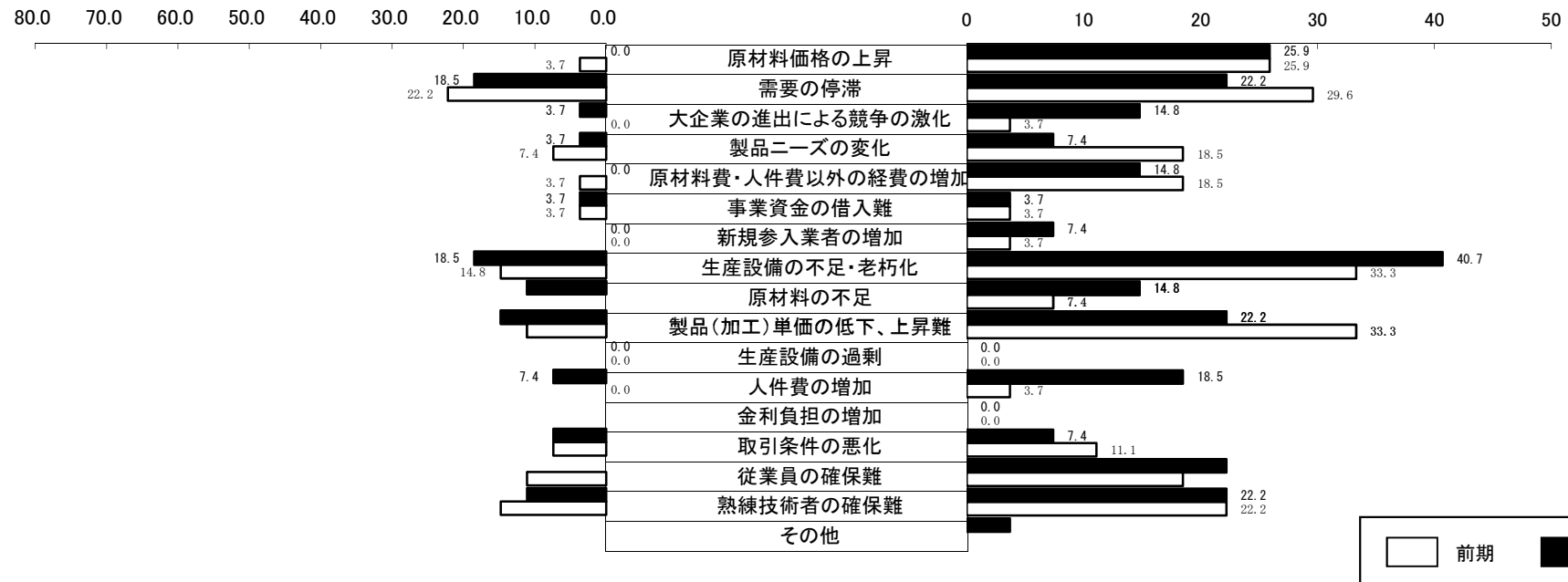
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>



晴

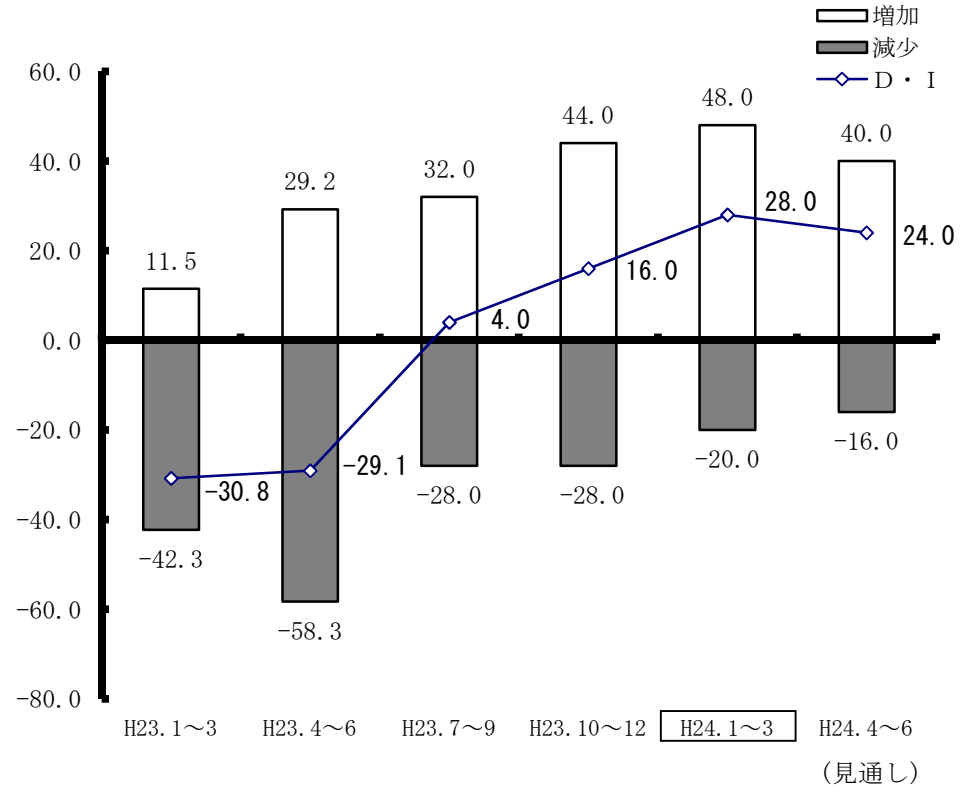
<来期見通し>



晴

今期は、建設業において、売上高増加企業が4期連続して上昇した結果、プラス幅が12.0ポイント拡大して28.0となり、平成15年1月～3月期の調査時以降において、最も高い水準を維持しています。

来期は、売上高減少企業割合は減少するものの、売上高増加企業の減少により、売上高D・Iは4.0ポイント低下の24.0となる見通しです。



雨



曇



薄曇



晴



晴



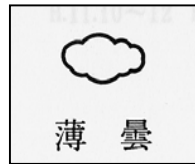
晴

※建設業の売上高は完成工事高

# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

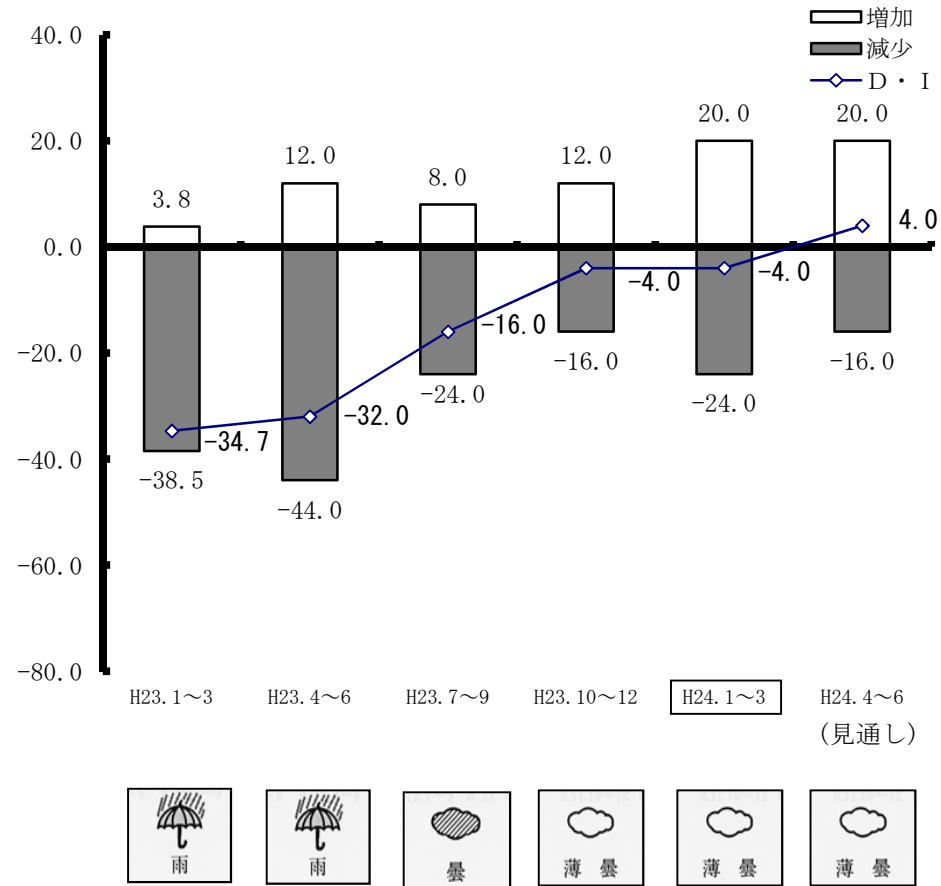


<来期見通し>



前期見通しでは、マイナス幅の拡大が予想されていましたが、実際は、採算悪化企業は増加したものの、これを上回る採算好転企業の増加によって前期と同じ水準の△4.0となりました。

来期は、悪化を予想する企業が減少するため上昇に転じ、プラス領域の4.0まで回復する見通しです。

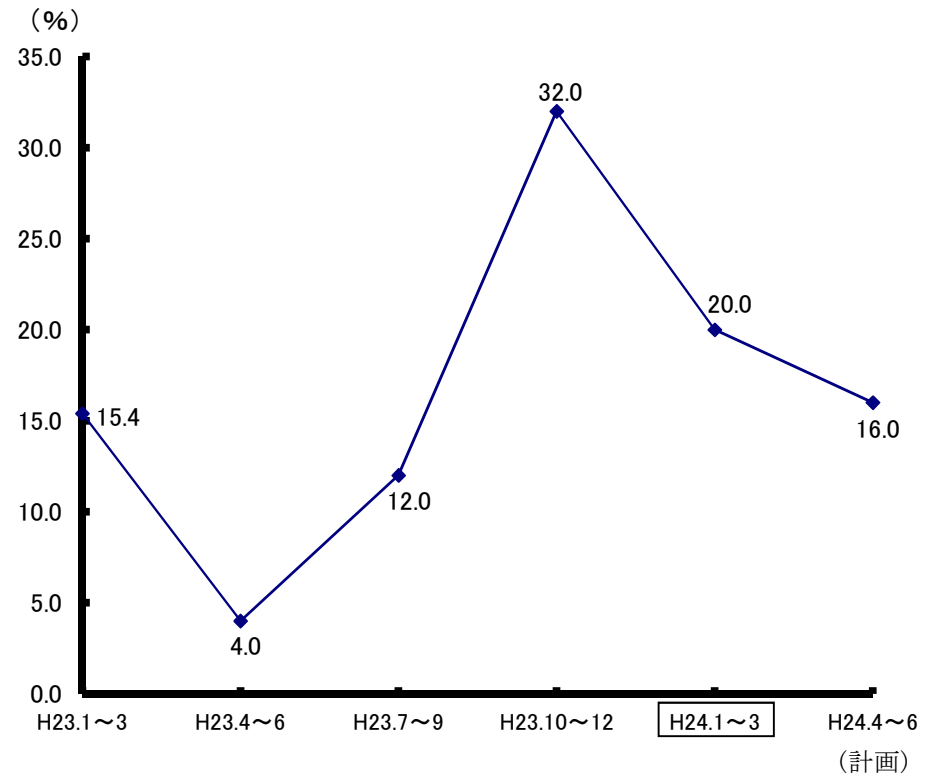


## 設備投資

前期見通しでは設備投資を実施する企業は4.0%まで下落すると予想されておりましたが、実際の減少幅は予想を下回り、20.0%の企業で設備投資が行われました。

来期は、設備投資を予定する企業は引き続き減少し、16.0%となる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

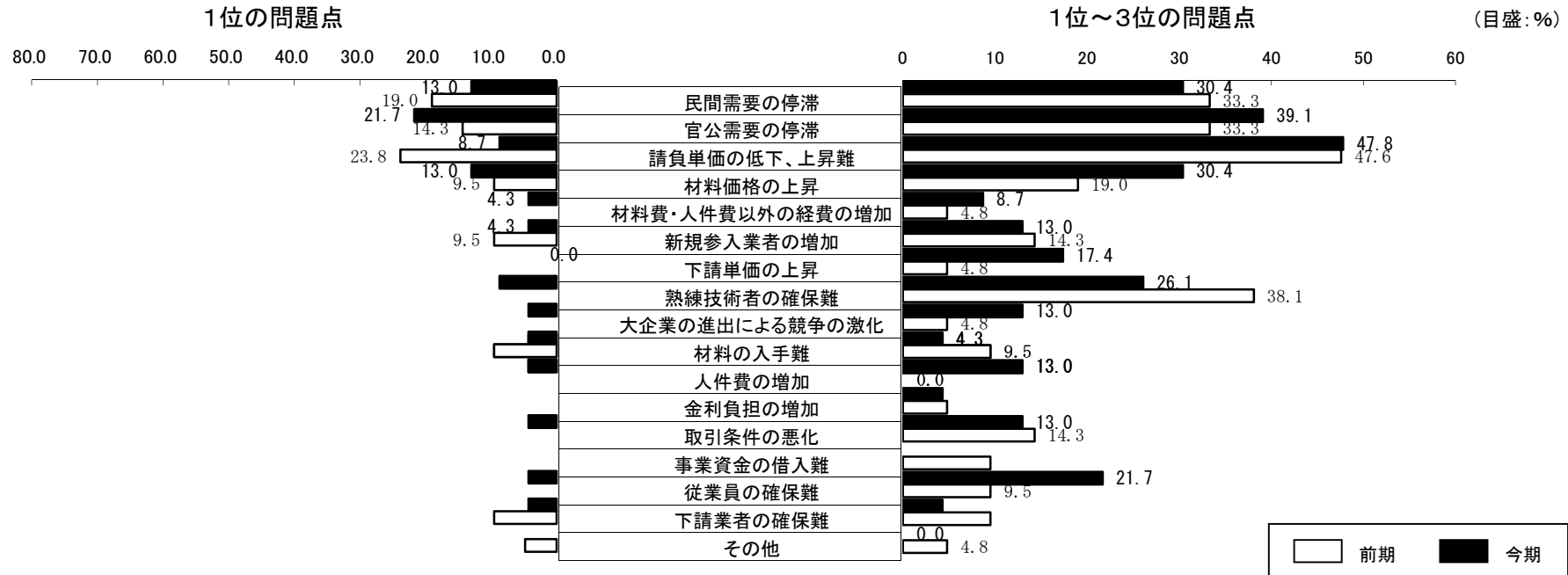


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

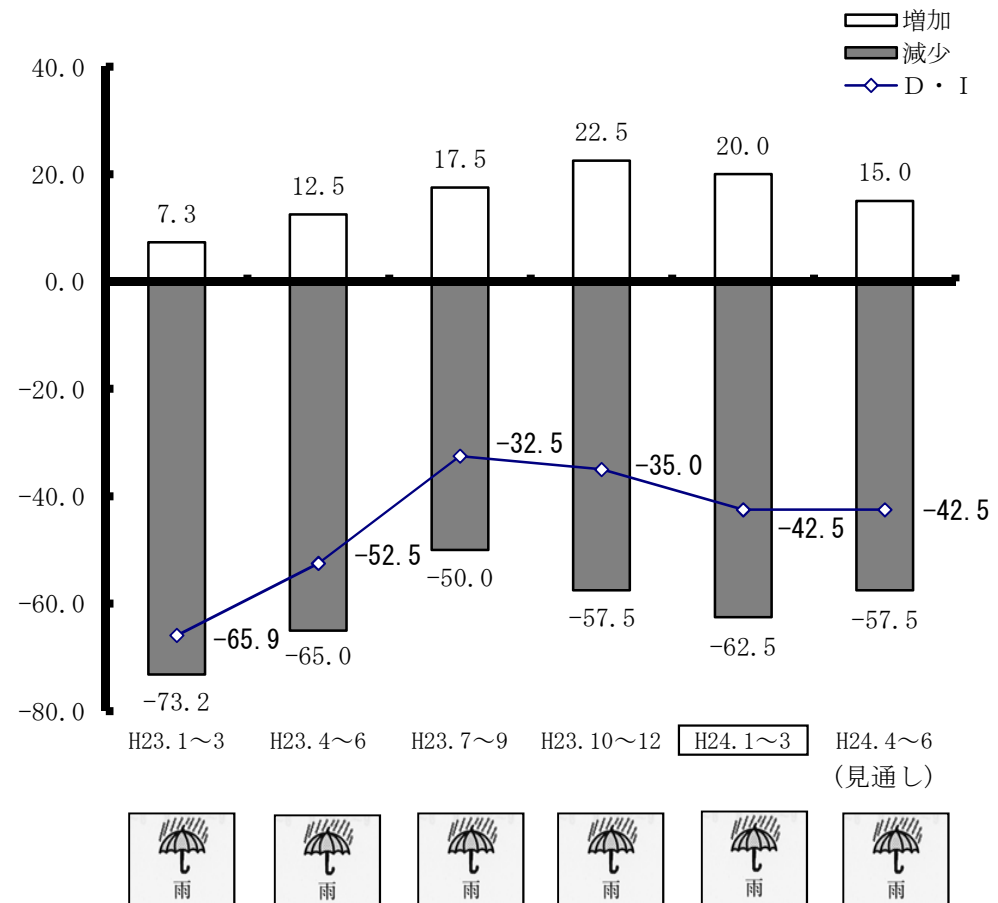


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業が減少に転じ、他方、売上高減少企業は増加したことにより、マイナス幅が7.5ポイント拡大して△42.5となっています。

来期は、売上高増加予想企業がさらに減少するものの減少を予想する企業も縮小するためD・Iは今期と横ばいの△42.5と予想されています。





# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

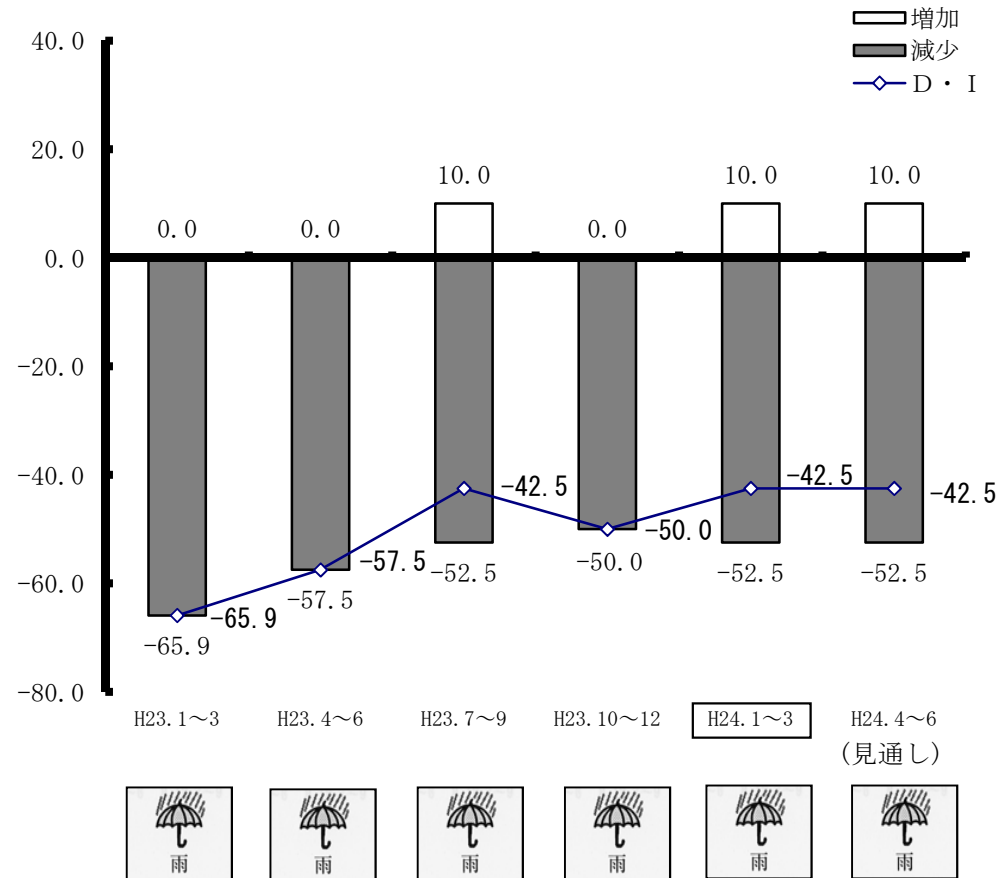


<来期見通し>



前期見通しでは、2.5ポイント低下の予想をしておりましたが、実際は好転企業割合が増加したため、マイナス幅は7.5ポイント減少して△42.5となりました。

来期は、好転企業及び悪化企業ともに今期と変わらず、採算D・Iも横ばいの見通しです。

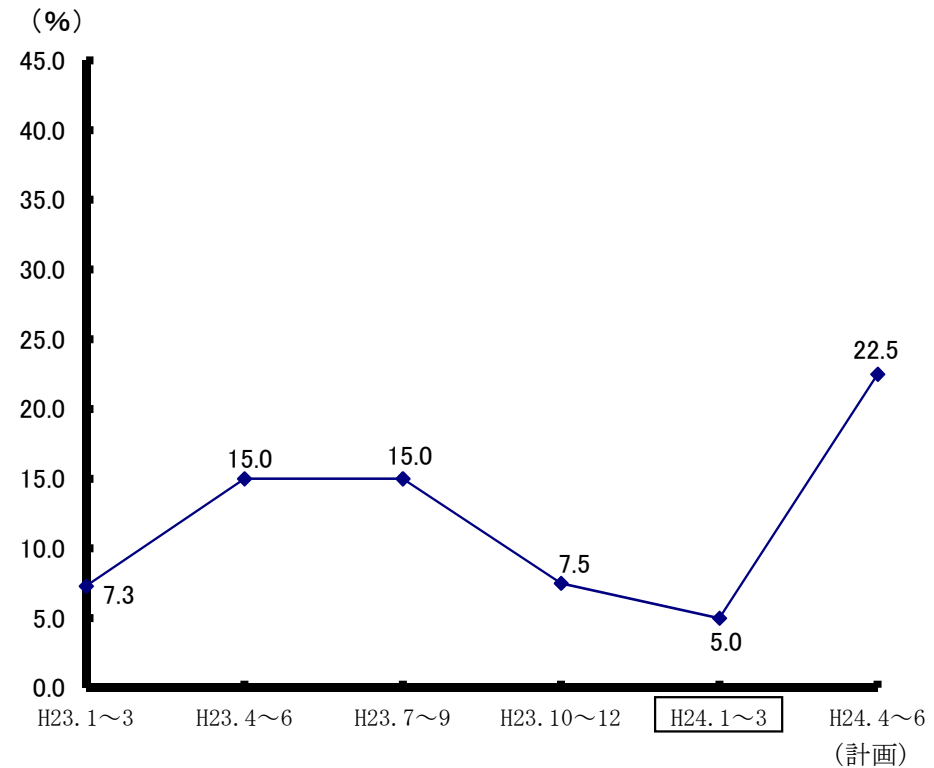


## 設 備 投 資

前期見通しでは、10.0%の企業で設備投資が行われるものと予想されておりましたが、実際は予想を下回り、設備投資が実施された企業は5.0%にとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業が大幅に増加し、22.5%まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

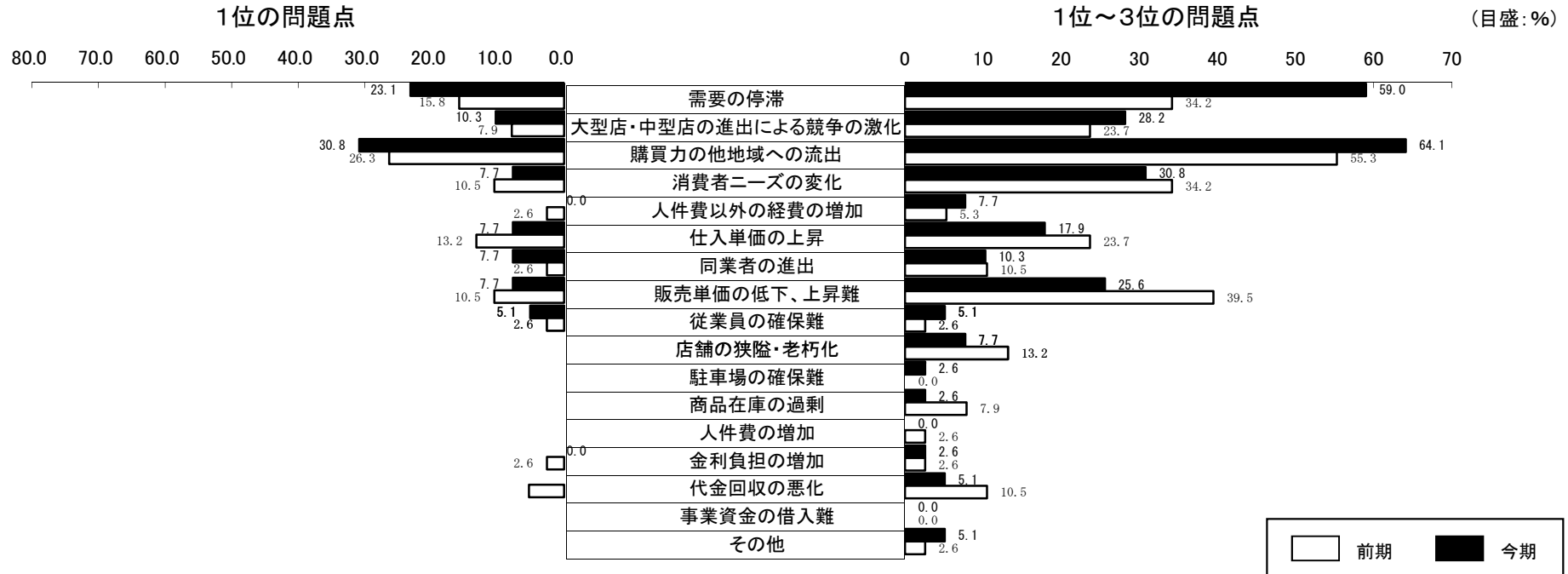


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

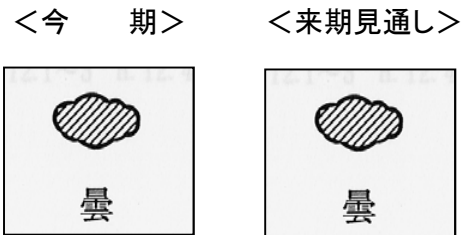
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



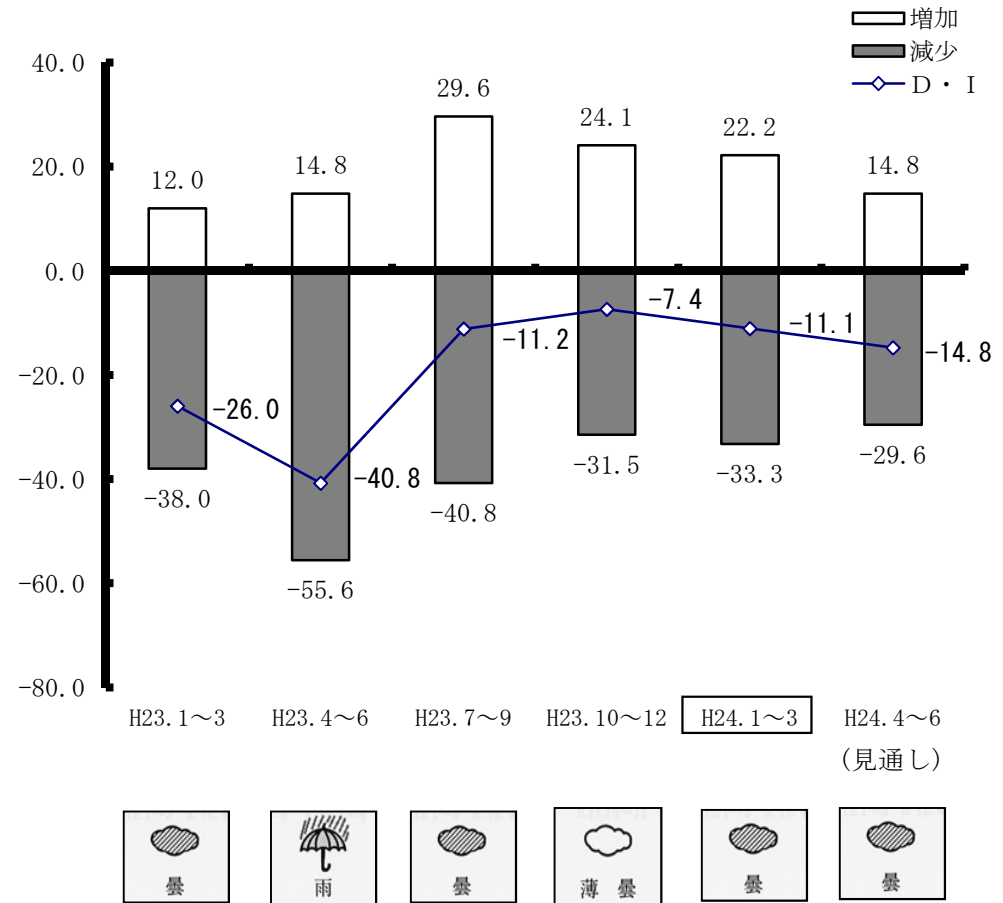
# サービス業の推移

## 売上高



今期は、売上高増加企業の減少と、売上高減少企業の増加によってマイナス幅が3.7ポイント拡大して△11.1となり、業況天気図も薄曇りから再び曇りへと移行しました。

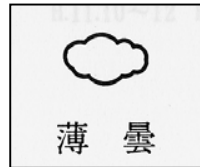
来期は、売上高増加を予想する企業割合が減少し、売上高D・Iは3.7ポイント低下の△14.8となる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

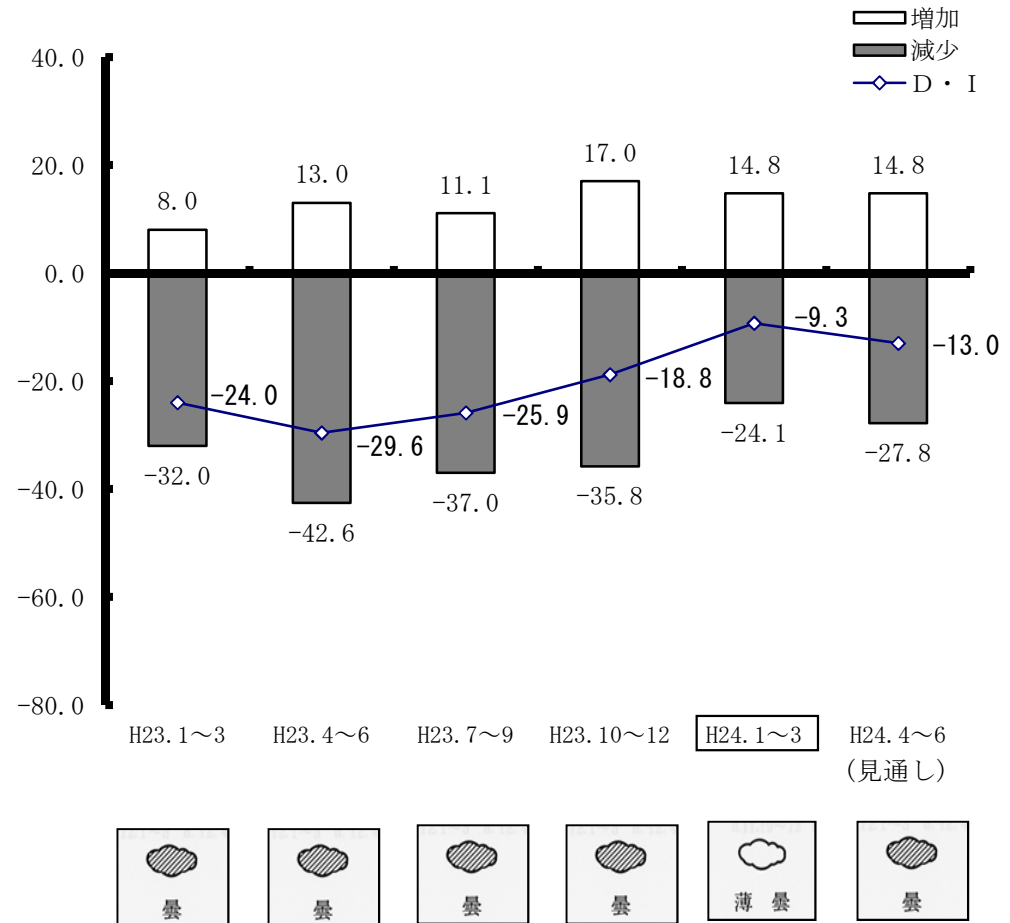


<来期見通し>



前期見通しでは、マイナス幅の拡大が予想されておりましたが、実際は悪化企業の減少が寄与してマイナス幅は9.5ポイント縮小の△9.3となり、3期連続の改善となりました。

来期は、採算の悪化を予想する企業の増加によって再びマイナス幅が拡大し、△13.0となり、業況天気図も薄曇りから曇りへの移行が予想されています。

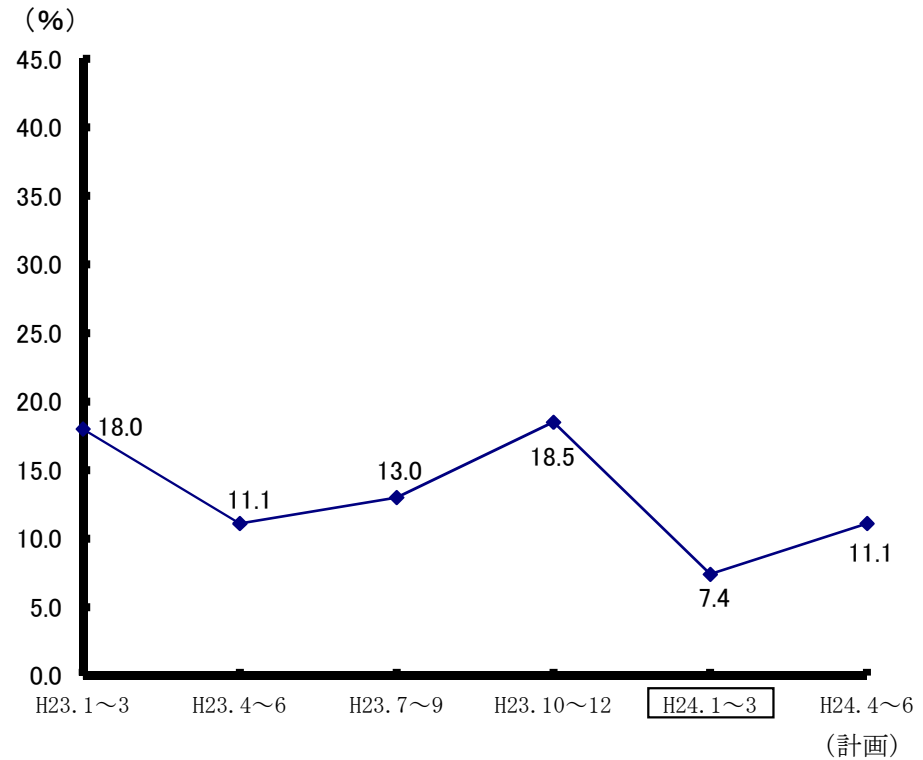


## 設備投資

今期は、ほぼ前期見通しの通りとなり、設備投資実施企業は7.4%にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業が再び増加し、11.1%の企業において設備投資が予定されています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

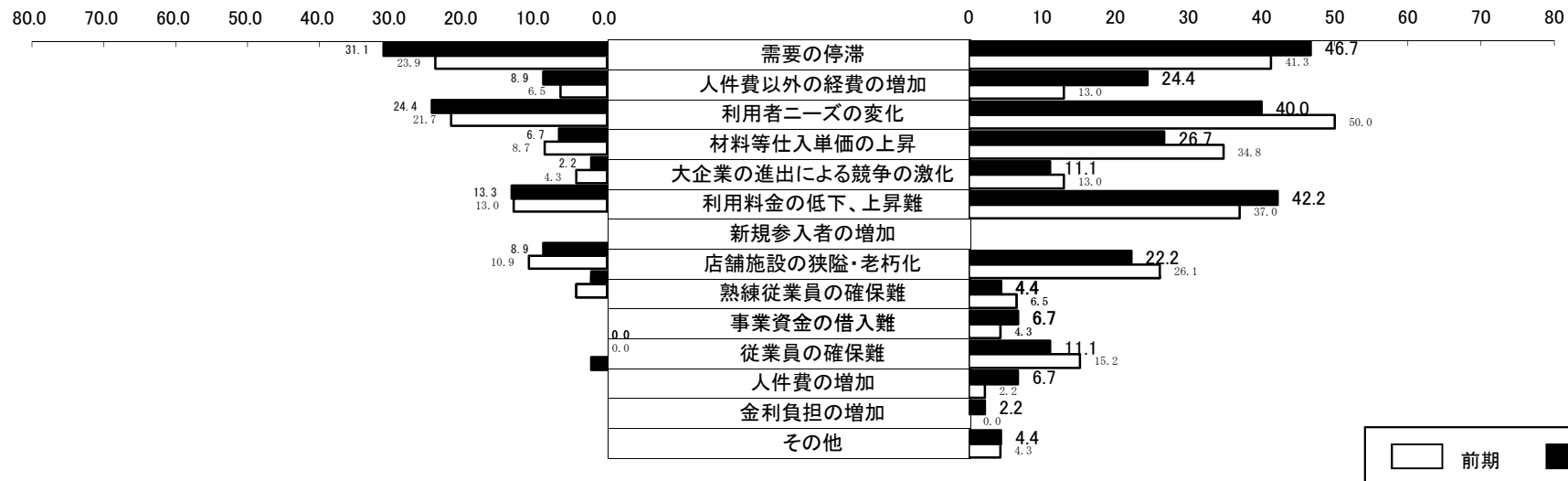
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

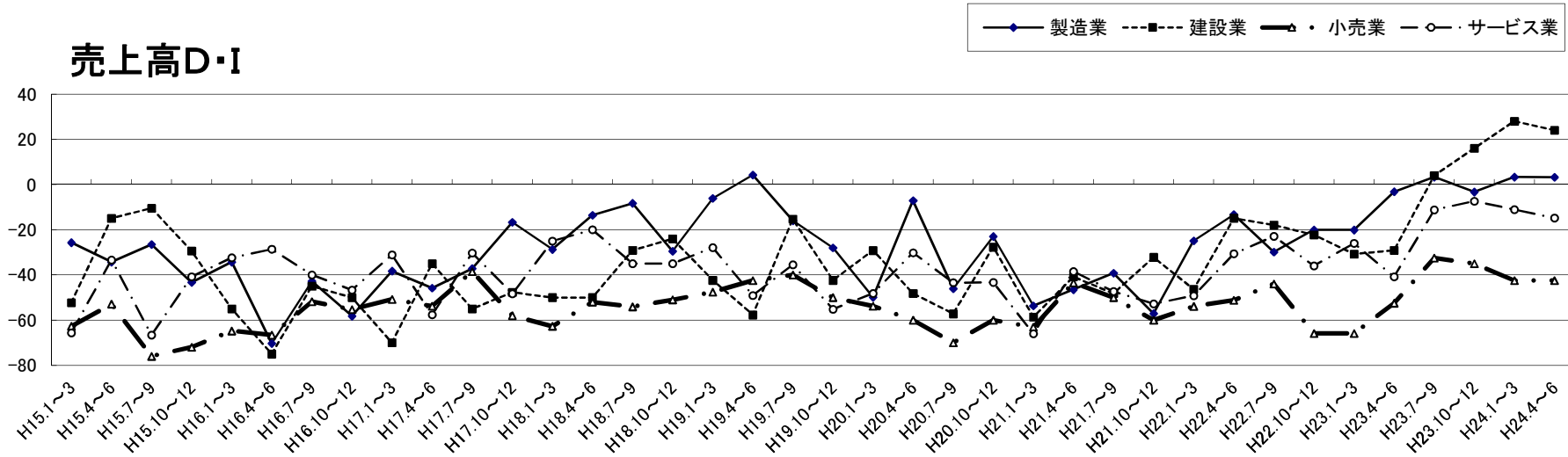
1位~3位の問題点

(目盛: %)

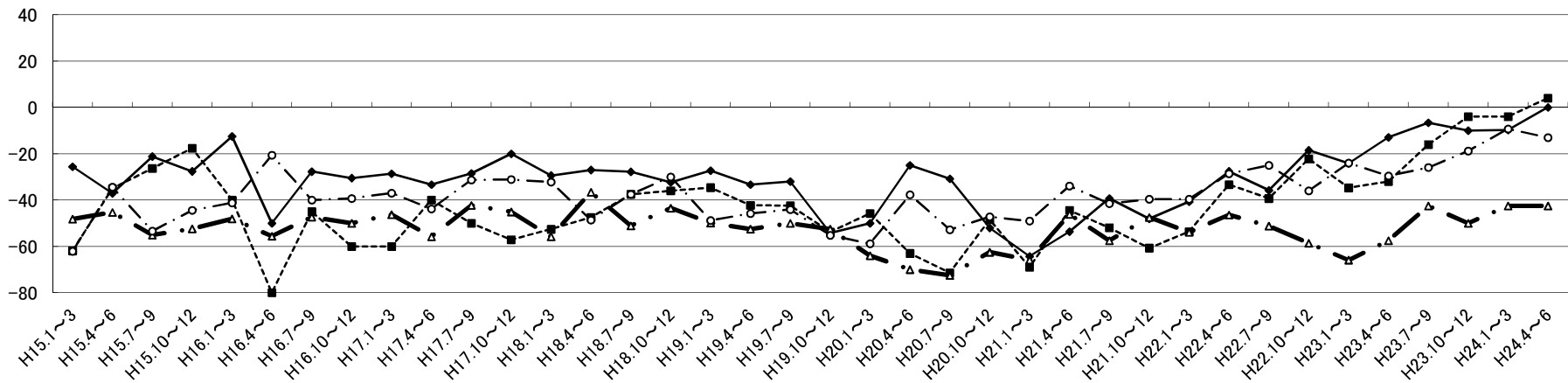


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I





# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町  
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成24年1月～3月を対象とし、調査時点は平成24年3月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		31 ( 20.7 )	31 ( 20.7 )	100.0
建設業		25 ( 16.7 )	25 ( 16.7 )	100.0
小売業		40 ( 26.7 )	40 ( 26.7 )	100.0
サービス業		54 ( 36.0 )	54 ( 36.0 )	100.0
		150 ( 100.0 )	150 ( 100.0 )	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。